

増田俊男の『愉快な暴言』2025年12月8日国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](#)



時事評論家 増田俊男

高市首相の心中察するに余りあり

自民党内には石破前総理を初めとして高市批判がかなりある。

日中関係悪化で、特に経済に与える損害や両国民の感情悪化などが懸念や批判の材料になっている。

高市発言を論じる前に、日本にとっての同盟国アメリカと自衛隊の仮想敵国になっている中国とどちらが重要で、どちらとの関係を優先しなくてはならないかはっきりしておく必要がある。

親中を通し抜いた安倍内閣万年幹事長の二階俊博に聞いてみると良い。

「そりゃ君、アメリカに決まっているよ」と言うに決まっている。

国民の高市支持は高いが自民党支持は高くないから時間と共に党内に石破のような高市反対派の数が増えるのも無理からぬこと。

石破のような反高市派は「高市が台湾有事と言うレッドラインを超えたことで日中関係が悪化した」と言って批判しているが、では高市発言は中国より大事なアメリカにはどう影響したのかは考えない。

だから石破はアメリカの一流シンクタンクから「ガキ扱い」されるばかりか日本の国民の支持率も最低だったのだ。

財界や経済界が高市発言に批判的なのは中国の制裁で儲からなくなると困るからだけだ。

元よりレッドラインを知っている高市がわざわざ岡田に誘導されて一線を超すだろうか。

岡田の質問は事前に分かっていたのだから高市は岡田に誘導されたのではなく岡田の質問を利用したのである。

高市は日中関係を犠牲にしてでも中国より大事なアメリカの為に一線を越えたのだと何故考えないのか。

生意気なことを言わせてもらうが、政治家なら「政治力学」を学んで欲しい。

今日の世界でトランプにとっての相手は習近平であり習近平に対しても相手はトランプだけだ。他の国々はトランプ一家か、習近平一家でグローバルサウスなどはどっちつかずで、いざとなったら強い方につく。

トランプにとって日本も台湾も中国との縄張り争いの材料に過ぎない。

トランプを親分とするなら高市は子分だ。

子分が親分に何も知らせず親分の相手に事を起こすことなどあり得ない。

高市発言後の11月24日トランプは習近平と電話で話した。翌25日トランプは高市と電話で話した。12月2日トランプは台湾保証実行法に署名した。

この法律は2020年に制定され、台湾との公的交流を5年毎に改め、やがて国交回復並みにもって行く為の準備である。

中国が、トランプは超えてはならない一線を越えたと批判するのは当然である。

高市が先にレッドラインを超え、続いてトランプが一線を超した。

トランプと高市は習近平のアキレス腱（台湾の真実）を突く準備を始めたのである。

では高市はトランプの対中戦略の一環として日中関係を犠牲にして目先何をしようとしているのか。

アメリカと日本が一緒になって対中半導体関連輸出規制を掛けたら中国のハイテク産業は壊滅的打撃を受ける。

中国が誇る EV やロボットの生産が止まる。

アメリカには対中半導体規制の理由があるが、日本にはなかった。

中国の高市発言に対するなりふり構わぬ中国の対日異常反応のお陰で中国にとって他に代替性のない日本の高性能半導体装置や部品の対中輸出規制を正当化する理由が出来た。

高市はトランプと共に中国が騒げば騒ぐほど致命的になるように規制を仕掛けるだろう。

低次元の高市批判を前にして本当のところを言えば売国奴だなどと批判がエスカレートしかねないから、言うに言えず困っている高市の心中察するに余りある。

高市は子分として「親分トランプの為に親分の敵習近平を罠にかけた」というのが高市発言の真相だろう。

政治力学が分かる高市は対中輸出規制の形が付いた頃の来年 1 月半ばに「解散」に打って出るだろう。

石破を初め反対派は公認せず、選挙区に公認の刺客を送って反対勢力を一掃するかつて小泉純一郎がやった手を使うだろう。

高市反対派は今の内に高市に忠誠を誓わないと「ただの人」になる。

石破の体たらくで国民民主と参政党に流れた自民票は取り戻せるから自民単独過半数は問題ないだろう。

公明党の時のように連立相手の顔色を窺がっているようではやりたいことは出来ない。

国民民主、参政党議員は高市に忠誠を誓い、自民に公認してもらい、自民の反高市派と入れ替われば生き延びられる。

言っておくが解散は来年 2 月では遅過ぎる！

（アメリカが待ってくれない）

※増田俊男の小冊子 Vol.153 大好評発売中！お申込みは、<https://www.musrjec.com/>

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.153

『知っていますか、「日本は今世紀の奇跡」であることを』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 153 は**大好評発売中**です。

内容は、**＊戦後の日本の奇跡＊奇跡の日銀＊安倍晋三発言「日銀は政府の子会社である」の意味すること＊日本の安全保障は皮肉の極み＊日本だけに出来る永遠の安全保障**などです。価格は、**1冊 5,800 円(送料別)**。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U. S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。